

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

30612

臨床研修病院の名称：岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
乳腺・内分泌外科	辻 尚志	岡山赤十字病院	院長	44	○	検診77474読影認定医（B）、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本腹部救急医学会腹部救急暫定教育医・腹部救急認定医、平成19年臨床研修指導医養成講習会修了、平成28年医療事故防止セミナー修了	30612402	4
救急部	實金 健	岡山赤十字病院	副院長（兼）救急部長	38	○	統括DMAT隊員、日本DMAT隊員、岡山県災害医療コーディネーター、日本救急医学会救急科専門医、日本麻酔科学会専門医、日本麻酔科学会麻酔指導医、平成15年度JICA研修に係る医師研修修了、麻酔科棟医、岡山大学医学部医学部臨床教授	同上	4
肝臓内科	小橋 春彦	岡山赤十字病院	副院長（兼）肝臓内科部長	39	○	岡山大学医学部医学科臨床教授、日本肝臓学会指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医	同上	4
呼吸器内科	別所 昭宏	岡山赤十字病院	副院長（兼）第一呼吸器内科部長	34	○	ICLS・BLSコースディレクター、JMECC（ストラクター、インテリジェントコントロール（ICD）、岡山大学医学部医学科臨床教授、第15回日本救急医学会アップデート教育コース受講、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本化学療法学会抗がん化学療法認定医・教育医、日本呼吸器学会指導医、日本呼吸器学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、臨床研修指導医養成講習会修了、日本内科学会認定医制度研修医	同上	1.4
総合内科	藤原 隆行	岡山赤十字病院	総合内科部長	27	×	日本プライマリ・ケア連合学会指導医、日本医師会認定産業医、日本東洋医学会漢方専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本老年医学会指導医、日本医師会認定産業医、日本老年医学会認定老年病専門医、日本内科学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本内科学会認定内科医	同上	4
血液内科	藤井 総一郎	岡山赤十字病院	第一血液内科部長	36	○	医学博士、日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医、日本血液学会血液指導医、日本血液学会血液専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、日本臨床腫瘍学会指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医	同上	4
血液内科	新谷 大悟	岡山赤十字病院	第二血液内科部長	23	○	日本血液内科学会認定血液専門医、日本血液内科学会認定血液指導医、日本感染症学会ICD、日本内科学会認定内科医、日本内科学会指導医、第13回全国労災病院臨床研修指導医講習会修了	同上	2.4
血液内科	木村 真衣子	岡山赤十字病院	血液内科医長	9	×	日本内科学会認定医、日本血液学会専門医	同上	4
糖尿病内分泌内科	渡辺 恭子	岡山赤十字病院	糖尿病内科部長	39	○	日本内科学会認定認定医、日本内科学会認定指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会認定専門医、日本抗加齢学会認定専門医、人間ドック学会人間ドック健診専門医、人間ドック学会人間ドック健診指導医、日本医師会認定産業医、人間ドック学会人間ドック認定医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本糖尿病学会研修指導医、臨床研究講習会受講	同上	4
糖尿病内分泌内科	早川 信彦	岡山赤十字病院	内分泌内科部長	38	○	日本甲状腺学会専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック認定医、日本総合健診医学会・日本人間ドック学会人間ドック健診指導医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本内分泌学会内分泌代謝科（内科）専門医、日本老年医学会認定老年病指導医、日本老年医学会認定老年病専門医、老年病専門医研修会修了、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病種（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
膠原病・リウマチ内科	小山 芳伸	岡山赤十字病院	膠原病・リウマチ内科部長	34	×	日本リウマチ学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医	30612402	4
腎臓内科	蒲生 直幸	岡山赤十字病院	腎臓内科部長	29	×	日本内科学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本腎臓学会指導医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会指導医、日本透析学会専門医、日本内科学会総合内科専門医	同上	4
消化器内科	井上 雅文	岡山赤十字病院	消化器内科部長	24	○	日本内科学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定内科医	同上	4
消化器内科	原田 亮	岡山赤十字病院	胆膵内科部長	21	○	日本内科学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本胆道学会指導医	同上	4
消化器内科	秋田 光洋	岡山赤十字病院	消化器内科副部長	23	○	日本内科学会指導医、日本内科学会認定医、日本消化器病学会認定専門医、日本消化器内視鏡学会専門医	同上	4
消化器内科	安井 稔博	岡山赤十字病院	消化器内科副部長	19	○	日本内科学会指導医、日本リウマチ学会連合学会指導医、日本リウマチ学会連合学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医	同上	4
消化器内科	秋元 悠	岡山赤十字病院	胆膵内科副部長	18	○	日本内科学会指導医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本胆道学会認定指導医、日本胆道学会認定指導医、日本消化器病学会中国支部評議員、日本消化器内視鏡学会中国支部評議員	同上	4
肝臓内科	歳森 淳一	岡山赤十字病院	肝臓内科副部長	23	×	日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会認定内科医	同上	4
呼吸器内科	佐久川 亮	岡山赤十字病院	第二呼吸器内科部長	26	○	日本内科学会指導医、日本エイズ学会指導医、日本エイズ学会認定医、日本呼吸器学会指導医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医	同上	4
呼吸器内科	細川 忍	岡山赤十字病院	呼吸器内科副部長	25	○	日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、がんのリアル「リサーチ」研修プログラム修了、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本呼吸器学会指導医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本内科学会認定内科医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病種（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
呼吸器内科	萱谷 紘枝	岡山赤十字病院	呼吸器内科医長	17	×	日本内科学会指導医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医	30612402	4
呼吸器内科	安東 千裕	岡山赤十字病院	呼吸器内科医長	11	×	日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	同上	4
循環器科	齋藤 博則	岡山赤十字病院	医療社会事業部長(兼)循環器内科副部長	33	○	AHA ACLS EPファカティ、AHA ACLSファカティ、AHA BLSファカティ、植込み型除細動器/ペースメーカーによる心不全治療修了、日本DMATインストラクター、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション認定医、日本心臓病学会心臓病上級臨床医(FJCC)、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、平成15年度第2回新GCPのもとの治験推進研修会修了、平成28年度（第1回）おかやまDMAT隊員養成研修修了、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
循環器科	湯本 晃久	岡山赤十字病院	循環器内科副部長	28	×	日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管リハビリテーション治療学会認定医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会指導医	同上	4
循環器科	福家 聡一郎	岡山赤十字病院	循環器内科部長	27	○	臨床研修指導医養成講習会修了、医学博士、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管リハビリテーション治療学会専門医、日本心臓血管リハビリテーション治療学会認定医、日本生理学会認定生理学エディター、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本脈管学会専門医、日本老年医学会認定老年病専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、麻酔科標榜医、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、日商簿記2級	同上	4
循環器科	田中 正道	岡山赤十字病院	循環器内科副部長	23	×	日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会認定内科医、日本不整脈学会専門医、日本不整脈心電学会「植込み型除細動器/ペースメーカーによる心不全治療」研修、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医	同上	4
脳神経内科	武久 康	岡山赤十字病院	脳神経内科部長	29	×	日本神経学会認定指導医、日本神経学会認定専門医、日本内科学会認定内科医、日本認知症学会指導医、日本認知症学会専門医、日本内科学会指導医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
緩和ケア科	喜多嶋 拓士	岡山赤十字病院	緩和ケア科部長	34	×	がんのリハビリテーション研修ワークショップ修了、日本緩和医療学会研修指導者講習会修了、日本緩和医療学会研修指導医、日本緩和医療学会認定医	同上	4
緩和ケア科	深松 伸明	岡山赤十字病院	緩和ケア科副部長	13	×	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本緩和医療学会緩和医療認定医、日本緩和医療学会研修指導者講習会修了、日本緩和医療学会研修指導医、日本DMAT隊員、公認心理士	同上	4
脳卒中科	岩永 健	岡山赤十字病院	脳卒中科部長	26	○	日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本脳神経超音波学会脳神経超音波検査士、日本脳卒中学会指導医、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医、日本老年医学会指導医、脳卒中相談窓口多職種講習会受講、全日本病院協会認定医療DX責任者	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病種（CPC）を記入すること。
 ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
 ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
 ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
 * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
 * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
 ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
 ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
脳卒中科	岡田 博	岡山赤十字病院	脳卒中科部長	10	×	日本内科学会認定内科医、日本内科学会指導医、日本老年医学会老年専門医、日本医師会認定産業医	30612402	4
精神神経科	中島 誠	岡山赤十字病院	精神科部長	39	×	精神保健指定医、日本医師会認定産業医、日本神経学会神経内科専門医、日本精神神経学会指導医、日本精神神経学会精神科専門医、日本内科学会認定内科医、日本認知症学会専門医、日本認知症学会指導医	同上	4
小児科	井上 勝	岡山赤十字病院	第一小児科部長	38	○	日本小児科学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科指導医、日本産婦人科・新生児医学会周産期専門医（新生児）暫定代表指導医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
小児科	後藤 振一郎	岡山赤十字病院	第二小児科部長	26	○	日本小児科学会専門医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
小児科	廻 京子	岡山赤十字病院	小児科医長	17	×	日本小児科学会専門医	同上	4
小児科	藤井 洋輔	岡山赤十字病院	小児科副部長	18	○	日本小児科学会専門医、日本小児科学会指導医、日本アレルギー学会専門医、日本感染症学会専門医、日本肝臓学会専門医、インфекション・コントロール・ドクター、日本小児アレルギー学会代議員、臨床研修指導医養成講習会修了、岡山大学医学部医学科臨床教授	同上	4
消化器外科	池田 英二	岡山赤十字病院	消化器外科統括第一部長	37	×	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本胸部外科学会認定医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会専門医、日本食道学会食道科認定医、日本大腸肛門病学会指導医、日本大腸肛門病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）、日本内分分泌外科専門医、日本腹部救急医学会腹部救急暫定教育医・腹部救急認定医	同上	4
消化器外科	高木 章司	岡山赤十字病院	消化器外科統括第二部長	35	○	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本消化器外科学会専門医、日本食道学会食道科専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）、日本消化器外科学会指導医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
消化器外科	山野 寿久	岡山赤十字病院	第一消化器外科部長	32	×	日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本消化器外科学会専門医	同上	4
消化器外科	松村 年久	岡山赤十字病院	第二消化器外科部長	29	×	日本外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
消化器外科	丸山 昌伸	岡山赤十字病院	第三消化器外科部長	25	○	日本外科学会専門医、日本外科学会指導医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医	30612402	4
消化器外科	杭瀬 崇	岡山赤十字病院	第四消化器外科部長	19	×	日本外科学会専門医、日本消化器病外科学会指導医、日本消化器外科学会専門医、日本消化管学会胃腸科専門医、日本大腸肛門病学会指導医、日本消化器外科学会専門医、日本肝胆臓外科学会高度技能専門医、日本移植学会認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医	同上	4
消化器外科	熊野 健二郎	岡山赤十字病院	第三消化器外科副部長	17	○	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器がん外科治療認定医、日本消化器外科学会指導医	同上	4
消化器外科	赤井 正明	岡山赤十字病院	第二消化器外科副部長	11	×	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	同上	4
呼吸器外科	葉山 牧夫	岡山赤十字病院	呼吸器外科部長	26	×	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本移植学会移植認定医、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	同上	4
呼吸器外科	野田 奈緒子	岡山赤十字病院	呼吸器外科医長	15	×	日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医	同上	4
乳腺・内分泌外科	吉富 誠二	岡山赤十字病院	乳腺内分泌外科部長	28	×	検診マンモグラフィ読影認定医（B）、第2回岡山大学医学部医学科外科系医師のための指導者養成講習会修了、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本内分泌・甲状腺外科専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、日本乳癌学会認定医、乳房再建用インプラント/リフト責任医師、日本甲状腺学会専門医	同上	4
乳腺・内分泌外科	森川 希実	岡山赤十字病院	乳腺内分泌外科副部長	12	×	日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、臨床研修指導医養成講習会修了、第68回マンモグラフィ更新講習会受講修了	同上	4
心臓血管外科	中西 浩之	岡山赤十字病院	心臓血管外科部長	38	×	下肢静脈瘤に対する血管焼灼術の実施基準による指導医、下肢静脈瘤に対する血管内レーザ-焼灼術実施医、胸部ステントリフト実施医、心臓血管外科専門医認定機構修練指導者、弾性ストッキング・コンダクター、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管外科専門医、日本脈管学会認定脈管認定医、腹部ステントリフト指導医、日本血管外科学会認定血管内治療医、透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT認定専門医、日本脳卒中の外科学会技術認定医	同上	4
整形外科	古松 毅之	岡山赤十字病院	第一整形外科部長	25	×	医学博士、日本整形外科学会専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、関節鏡技術認定医（膝）、臨床修練指導医（英語）	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病種（CPC）を記入すること。
※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3 3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	高橋 雅也	岡山赤十字病院	第二整形外科部長	32	×	日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科専門医	30612402	4
整形外科	三宅 由晃	岡山赤十字病院	第一整形外科副部長	17	×	日本人工関節学会認定医、日本整形外科学会専門医	同上	4
整形外科	竹下 歩	岡山赤十字病院	第二整形外科副部長	15	×	日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会ゆづり医認定	同上	4
整形外科	杉生 和久	岡山赤十字病院	第一整形外科副部長	16	×	日本整形外科学会専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、医学博士	同上	4
整形外科	保利 忠宏	岡山赤十字病院	第一整形外科医長	12	×	日本整形外科学会専門医	同上	4
脳神経外科	竹内 勇人	岡山赤十字病院	脳神経外科副部長	15	×	日本脳神経外科学会専門医、NST医師・歯科医師教育セミナー修了	同上	4
脳血管内治療外科	西田 あゆみ	岡山赤十字病院	脳血管内治療外科部長	26	×	日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本脳卒中学会指導医	同上	4
皮膚科	横山 恵美	岡山赤十字病院	皮膚科部長	27	×	日本皮膚科学会専門医	同上	4
皮膚科	光井 聖子	岡山赤十字病院	皮膚科医長	14	○	日本皮膚科学会専門医	同上	4
皮膚科	加藤 あずさ	岡山赤十字病院	加藤 あずさ	8	×	日本皮膚科学会専門医	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
泌尿器科	竹中 皇	岡山赤十字病院	泌尿器科部長	33	×	インフェクションコントロール・ケア（ICD）、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、日本泌尿器科学会・日本ES学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会専門医、仙骨神経刺激療法講習修了、臨床研究講習会修了	30612402	4
泌尿器科	甲斐 誠二	岡山赤十字病院	泌尿器科副部長	21	×	手術ロボット デヴィンチ資格認定医、日本内視鏡外科学会（泌尿器腹腔鏡）認定医、日本泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会専門医、日本泌尿器腹腔鏡技術認定医	同上	4
泌尿器科	三井 将雄	岡山赤十字病院	泌尿器科医師	7	×	日本泌尿器科学会専門医	同上	4
産婦人科	高取 明正	岡山赤十字病院	産婦人科部長	39	×	日本産婦人科学会専門医、日本臨床細胞学会専門医、母体保護法指定医師認定医、新生児蘇生法専門医、検診with 7/4読影認定医、乳房超音波技術認定医、JOGa_器質性月経困難症に対する適正なホルモン療法等に係る研修修了	同上	4
産婦人科	佐々木 佳子	岡山赤十字病院	産婦人科副部長	21	×	日本産婦人科学会指導医・専門医、日本周産期・新生児医学会指導医・専門医、母体保護法指定医、日本母体救命システム普及協議会（J-MELS）ベーシックコースインストラクター、新生児蘇生法「専門」コース修了、日本医師会認定産業医	同上	4
産婦人科	山本 梨沙	岡山赤十字病院	産婦人科医長	10	×	日本産婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医、新生児蘇生法「専門」コース修了、緊急避妊薬の処方にかかるオンライン診療研修修了、オンライン診療研修修了、器質性月経困難症に対する適正なホルモン療法に関わる研修修了、女性のヘルスケア研修会修了、日本母体救命システム普及協議会ベーシックコース修了、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
産婦人科	柏原 麻子	岡山赤十字病院	産婦人科医長	13	×	日本産婦人科学会専門医、JOHBOC E-Learningセミナー受講終了	同上	4
産婦人科	角南 華子	岡山赤十字病院	産婦人科医長	9	×	日本産婦人科学会専門医	同上	4
眼科	加藤 睦子	岡山赤十字病院	眼科部長	29	×	日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会PDT研究会PDT認定医	同上	4
眼科	有安 奏	岡山赤十字病院	眼科医師	7	×	日本眼科学会専門医	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（GPG）を記入すること。
※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
耳鼻咽喉科	竹内 彩子	岡山赤十字病院	耳鼻咽喉科部長	21	×	日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科専門研修指導医、臨床研修指導医講習会修了	30612402	4
耳鼻咽喉科	藤澤 郁	岡山赤十字病院	耳鼻咽喉科医長	15	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医	同上	4
耳鼻咽喉科	濱田 浩司	岡山赤十字病院	耳鼻咽喉科医長	15	×	日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会研修指導医	同上	4
形成外科	杉山 成史	岡山赤十字病院	形成外科部長	18	×	日本形成外科学会専門医、日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医、日本形成外科学会小児形成外科分野指導医、日本形成外科学会領域指導医、乳房再建用エクスパンダー/インプラント責任医師、中四国ブロック臨床研修指導医養成研修会修了、日本フットケア・足病医学会下肢創傷処置・管理のための講習会受講修了	同上	4
麻酔科	奥 格	岡山赤十字病院	第一麻酔科部長	35	○	JATECインストラクター、インフォクシオンコントローラクター（ICD）、日本DMAT隊員、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本麻酔科学会麻酔指導医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科専門医、統括DMAT、岡山県災害医療コーディネーター、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
麻酔科	谷西 秀紀	岡山赤十字病院	第二麻酔科部長	26	○	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医、日本麻酔科学会指導医	同上	4
麻酔科	岩崎 衣津	岡山赤十字病院	第三麻酔科部長	23	○	JATECインストラクター、日本ペインクリニック学会専門医、日本周術期経食道心エコー（JB-POT）認定医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本麻酔科学会専門医、日本麻酔科学会指導医、麻酔科標榜医、臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
麻酔科	石井 瑞恵	岡山赤十字病院	麻酔科副部長	19	×	日本ペインクリニック学会専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本麻酔科学会麻酔指導医、日本麻酔科学会麻酔専門医、麻酔科標榜医	同上	4
麻酔科	三枝 秀幸	岡山赤十字病院	麻酔科副部長	15	×	日本麻酔科学会麻酔科認定指導医、日本救急医学会救急科専門医、日本麻酔科学会麻酔科認定医・専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、麻酔科標榜医	同上	4
麻酔科	石川 友規	岡山赤十字病院	麻酔科医長	13	×	日本周術期経食道心エコー（JB-POT）認定医、日本麻酔科学会専門医、日本麻酔科学会認定医、麻酔科標榜医、日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本救急医学会救急科専門医	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病棟（CPC）を記入すること。
※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。

3 3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
麻酔科	赤澤 杏奈	岡山赤十字病院	麻酔科医長	9	×	日本麻酔科学会麻酔科認定医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科専門医、日本呼吸療法医学会専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医	30612402	4
麻酔科	余頃 瑞希	岡山赤十字病院	麻酔科医師	7	×	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科認定医、日本麻酔科学会麻酔科専門医	同上	4
ペーパリア科	福島 臣啓	岡山赤十字病院	ペーパリア科部長	39	○	日本ペーパリア学会専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本麻酔科学会専門医、日本麻酔科学会麻酔指導医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科認定医	同上	4
歯科	小林 幸生	岡山赤十字病院	歯科部長	12	×	日本外傷歯学会認定医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、嚥下機能評価研修会修了	同上	4
健診部	牧田 文子	岡山赤十字病院	健診部副部長	26	○	日本糖尿病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、人間ドッグ健診専門医、日本内科学会認定内科医、日本人間ドッグ学会人間ドッグ健診指導医	同上	4
放射線科	橋村 伸二	岡山赤十字病院	放射線診断科部長	33	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、卒後臨床研修指導医	同上	4
放射線科	姫井 健吾	岡山赤十字病院	放射線治療科部長	30	○	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本医学放射線学会治療専門医、日本医学放射線学会放射線科専門医、日本放射線医学会研修指導者、岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成	同上	4
放射線科	森本 真美	岡山赤十字病院	放射線科副部長	30	×	検診マングラフィ認定医、日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本医学放射線学会研修指導者、マンモグラフィ更新講習会受講修了、岡山大学病院卒後臨床研修指導医講習会修了	同上	4
放射線科	石井 裕朗	岡山赤十字病院	放射線科部副部長	21	×	検診マングラフィ認定医、日本 I V R 学会専門医、日本医学放射線学会診断専門医	同上	4
放射線科	左村 和磨	岡山赤十字病院	放射線科医師	8	×	日本医学放射線学会放射線診断専門医	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 30612

臨床研修病院の名称： 岡山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
病理部	田村 麻衣子	岡山赤十字病院	病理部長	18	×	死体解剖資格認定、日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本病理学会病理専門医研修指導医、日本臨床細胞学会教育研修指導医、日本病理学会分子病理専門医	30612402	4
病理部	都地 友睦	岡山赤十字病院	病理副部長	15	×	日本病理学会分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、死体解剖資格認定	同上	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。